

(仮称)町田市立国際工芸美術館整備計画の工事費削減努力を
継続することを求める決議

新型コロナウイルス感染症蔓延やロシアによるウクライナ侵攻、大幅な円安等により物価・資材価格・原油価格が大幅に高騰し、全国的な影響を及ぼし始めている。町田市においても例外ではなく、こうした状況下で市民の生活や市内事業者の経営が圧迫されている。

このような厳しい状況の中、本年12月13日に行われた文教社会常任委員会で行政報告のあった「(仮称)国際工芸美術館実施設計の進捗状況について」では、当初予算に計上した工事費約28億6千万円から1億8千万円の減額を行ったが、一方で資材高騰等により6億6千万円増額し、合計約33億4千万円となる見込みである旨が示された。

しかし、前述のとおり物価・資材価格・原油価格の高騰については、今後益々その影響が懸念されることから、際限なく予算措置を繰り返すことは市の財政状況を考慮すると限度がある。よって、町田市議会は引き続き工事費削減努力を継続することを求める。

以上、決議する。